

第5回日本 OSS 推進フォーラム 総会の開催

オープンソースソフトウェア(OSS)の普及拡大のために自由な立場で議論し、OSSによるオープンなイノベーションの促進に取り組んでいる日本 OSS 推進フォーラムは、正会員・一般会員および有識者からなる特別会員で構成される第5回総会を4月11日に NEC 芝倶楽部にて開催しました。

IT 利活用による企業競争力強化の中、IT の中心となるソフトウェアは OSS を外しては考えられなくなっており、今後の会員の OSS 利活用を、経済産業省をはじめとする官学や、他団体・コミュニティと連携しながら推進していきます。

具体的には以下の目標を掲げ活動していきます。

● 目標

OSS というソフトウェアパラダイムを会員が活用できるための、以下の情報交換・課題共有を実現し、日本発の OSS を含む OSS 利活用を推進し、会員の競争力強化を図ります。

- OSS 利用技術の普及
- OSS 活用事例の研究
- OSS 人材育成のためのセミナー開催

● グローバル活動

会員の下記活動を支援するために、日中韓活動を切り口にグローバルな交流を深めていきます。

- 日系企業の海外展開向けシステムインテグレーション活動
- 各国ソフトウェア開発力の活用(オフショアなど)
- 各国プロジェクトへの参画と現地企業とのビジネス交流
- 各国への OSS を含むソフト製品拡販

特に、IT 利活用で課題となる、「モバイル」「クラウド」「ビッグデータ」「ソーシャル技術」の分野を中心に活動し、IoT や AI は各部会で関連する部分を研究対象にします。また、更なる会員増加に向けて広報活動を強化します。

・ モバイル・ソーシャル技術

IT システムの環境が変化してきており、システムの課題は、コンピュータ中心の課題から、モバイルまで含めたシステム全体でのモバイル・ソーシャル技術活用に変化してきています。

- アプリケーション部会 サーバ上のアプリから IoT・モバイル・ロボット等の組込アプリまでを推進。

・ クラウド・ビッグデータ

今年度は昨年度に引き続き、クラウド基盤部分と上位層のビッグデータ部分で活動範囲が広まり、両者を分割して2部会で対応していきます。

- **クラウド技術部会** クラウド基盤部分を中心に活動を推進
- **ビッグデータ部会** ビッグデータ部分を中心に活動を推進。

・広報活動

OSSの重要性が認識されている現状に合わせて、幅広く会員に参加してもらうための広報活動、フォーラム活動の価値向上を目的とした議論や情報収集を、部会の活動として強化していきます。

- **広報部会** 会員間の情報共有強化、会員数増加およびフォーラム価値向上を推進。

今年度の部会構成は、「クラウド技術部会」、「ビッグデータ部会」、「アプリケーション部会」、「広報部会」の4部会体制の活動計画が承認されました。本フォーラムは、我が国のOSS利用促進とOSSグローバルコミュニティへの貢献に向けて、積極的に取り組んでおり、各WGでは日本国内のみならず中国、韓国と協調する北東アジアOSS推進フォーラム(昨年度は11月に中国で開催し、今年度は11月に日本で開催予定)において、効率的で実効性のある活動ができるように推進していきます。

※日本OSS推進フォーラムは、経済産業省がオブザーバとして参加しています。また、株式会社パンテル・インターナショナルが事務局を務めています。

● 各部会の目標および今年度の活動について

1 クラウド技術部会

クラウド技術部会は、クラウド環境でのOSS利活用に関する技術やノウハウ、勘所などを中心に、OSS利用コミュニティへ活動成果をインプットし、OSSの発展への貢献とビジネス領域に還元される良循環を形成します。具体的には、昨年度実施したOSS鳥瞰図をブラッシュアップしてDB化やカテゴリおよび情報収集方法の改善を行います。さらにOSS鳥瞰図の派生版としてグラフDB化などを検討します。また、クラウド技術のためのDocker教育コンテンツの開発を目指します。

2 ビッグデータ部会

ビッグデータ部会は、日本国内の関連する業界・ユーザ企業・コミュニティと連携し、「ビッグデータ」を有効的に活用するための方式を整備し、OSSの発展への貢献および日本国の産業全体へ「ビッグデータ」の活用によるビジネス拡大の良循環の形成を目指します。活動目標は、IoT時代を見据えた「ビッグデータ」を取り扱う上でのOSSを用いたデータ処理基盤の整備、データの標準化、分析手法の整備などの「ビッグデータ」利用促進に貢献できる環境を整備します。

3 アプリケーション部会

アプリケーション部会は、昨年度までの活動において、OSSアプリケーションを開発し、SaaSビジネスモデルを検討し、OSSアプリケーションのビジネス事例を集め、対外広報をしてきました。今年度は引き続きOSSアプリケーションのビジネス事例収集、参加メンバーのスキル強化のための研修会および対外広報活動

を実施し、IoT・モバイル・組込み・ディープラーニング領域のOSSアプリケーションまで広げて、更なる利用拡大を目指します。

4 広報部会

広報部会は、引き続き”フォーラム活動のプロモーション・会員企業メリット創出”を目指し、フォーラム活動の認知向上・活動の活性化に寄与していきます。また他の技術系の部会への参加以外にフォーラム活動の場を作っていきます。

以上